

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2011年5月)

発表日2011年7月12日(火)

～2ヶ月連続の前月比プラスで回復基調に～

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 エコノミスト 星野 卓也  
TEL : 03-5221-4526

		第3次産業活動指数 (単位:%)														
		前期比		前年比		電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	学習支援業	医療、福祉
09	4-6月	▲0.6	▲6.1	▲0.5	2.7	▲0.4	▲2.8	1.2	▲0.3	▲1.2	0.1	▲0.3	▲2.3	1.1		
	7-9月	0.6	▲4.7	▲0.9	▲2.7	0.6	1.7	▲0.5	▲0.1	6.5	0.1	0.0	▲0.3	0.7		
	10-12月	▲0.3	▲3.4	3.1	1.9	0.6	0.0	0.5	▲0.2	▲4.1	0.1	▲1.3	2.0	0.3		
10	1-3月	0.7	0.8	3.1	▲1.2	2.2	0.1	1.0	0.0	▲0.9	1.0	0.0	▲1.1	0.8		
	4-6月	0.4	1.4	▲0.2	2.7	▲0.2	0.8	0.5	▲0.1	▲1.7	▲0.3	▲0.8	▲0.5	1.8		
	7-9月	0.6	1.8	1.9	▲0.4	0.5	1.2	▲0.9	▲0.2	1.5	1.7	0.4	1.6	0.7		
11	10-12月	0.3	1.6	▲3.0	1.1	0.0	0.8	0.6	▲0.6	▲1.2	0.3	▲1.4	0.5	0.6		
	1-3月	▲1.4	▲0.1	2.1	▲4.2	▲1.4	▲1.6	▲0.1	▲0.5	1.5	▲3.0	▲6.8	▲0.7	1.9		
	5月	▲0.2	▲7.1	1.3	2.0	0.2	1.4	▲0.2	0.1	▲2.5	0.6	▲0.5	▲1.1	▲0.3		
09	6月	0.2	▲5.1	▲0.9	▲2.4	0.0	0.0	0.5	▲0.1	3.3	▲1.7	0.0	▲0.3	0.5		
	7月	0.5	▲5.3	▲0.3	0.2	0.4	1.2	▲1.3	▲0.3	0.0	1.3	0.0	▲0.1	0.2		
	8月	0.2	▲4.1	▲0.9	▲0.7	0.0	0.1	1.2	0.2	7.4	▲1.4	0.3	0.6	0.6		
	9月	▲0.3	▲4.7	0.6	▲4.5	0.4	▲0.2	▲0.9	0.1	0.8	2.0	0.0	0.0	0.1		
	10月	0.2	▲4.4	1.9	5.5	0.4	0.7	0.3	▲0.2	▲5.0	0.0	▲1.5	1.6	▲0.1		
	11月	▲0.2	▲3.0	1.4	▲0.1	0.0	▲0.4	0.0	▲0.1	▲1.0	▲2.0	▲0.1	0.0	0.3		
	12月	▲0.7	▲2.7	0.4	▲0.1	▲0.2	▲0.9	1.2	▲0.2	▲3.9	1.7	0.4	0.4	▲0.4		
	10	1月	1.9	0.2	1.8	1.6	2.3	2.2	0.6	0.4	2.6	0.1	0.0	▲0.4	1.3	
		2月	▲0.4	0.4	1.0	▲0.6	▲0.2	▲0.4	▲1.7	▲0.3	0.2	0.4	▲0.4	▲1.1	▲0.4	
		3月	▲1.1	1.9	▲0.3	▲6.9	0.5	3.1	2.5	0.0	▲1.8	0.4	0.1	▲0.9	0.0	
		4月	1.6	1.9	0.8	8.2	▲0.4	3.3	0.3	0.2	▲0.9	0.2	▲0.4	0.4	1.5	
		5月	▲0.3	1.2	▲2.0	0.3	▲0.7	▲0.7	▲0.4	0.2	0.2	▲1.2	▲0.4	0.3	0.5	
6月		0.1	1.0	0.8	▲1.3	▲0.2	0.6	▲1.2	0.3	0.6	▲0.4	0.3	▲0.2	0.5		
7月		0.7	1.6	1.1	0.9	0.9	1.0	▲0.1	▲0.2	3.8	2.5	▲0.4	2.0	0.0		
8月		0.1	2.3	2.7	▲0.1	▲0.3	0.5	0.4	▲0.1	▲3.8	0.0	2.2	0.2	0.4		
9月		▲0.4	1.3	▲2.1	▲1.6	▲0.1	▲0.8	▲0.2	▲0.2	▲0.6	▲0.2	▲2.2	▲1.2	▲0.2		
10月		0.2	0.5	▲2.6	1.9	▲0.3	0.3	0.3	▲0.3	0.2	0.7	0.0	▲1.4	0.4		
11月		0.6	2.5	0.2	0.6	0.9	1.4	▲0.1	▲0.1	1.2	▲1.2	▲1.6	▲0.4	0.3		
12月		▲0.2	1.8	0.0	0.0	▲0.4	▲0.6	1.0	0.0	▲1.4	1.7	1.0	0.5	0.2		
11	1月	▲0.1	1.1	4.3	▲1.0	0.4	0.2	▲1.9	0.0	1.0	▲0.8	▲1.0	0.5	1.3		
	2月	0.8	2.0	▲1.7	▲0.5	1.1	1.8	2.3	0.1	3.7	1.3	▲0.3	▲1.6	0.8		
	3月	▲5.9	▲3.1	▲3.5	▲9.4	▲7.2	▲8.9	▲0.5	▲1.8	▲4.1	▲12.9	▲17.0	▲1.4	▲0.7		
	4月	2.5	▲2.5	▲2.6	9.5	1.3	2.7	▲2.6	0.0	3.6	6.1	8.0	▲0.5	0.7		
	5月	0.9	▲0.4	0.1	▲1.1	0.5	2.7	0.0	1.7	▲2.5	4.1	6.4	0.5	▲0.4		

(出所)経済産業省「第3次産業活動指数」

## ○自粛ムードの和らぎを受けて、第3次産業活動指数は2ヶ月連続で上昇

5月の第3次産業活動指数は前月比+0.9%と、コンセンサス(同+0.7%、レンジ:同▲1.5%~+1.5%)をわずかながら上回る結果となった。

主要13業種のうちプラスに寄与した業種は卸売・小売業(前月比寄与度+0.66%ポイント)、生活関連サービス業、娯楽業(同+0.29%ポイント)、宿泊業・飲食サービス業(同+0.21%ポイント)、不動産・物品賃貸業(同+0.16%ポイント)などの7業種、マイナスに寄与した業種は、学術研究、専門・技術サービス業(同▲0.14%ポイント)、情報通信業(同▲0.12%ポイント)などの5業種、金融業・保険業は横ばいであった。

4月に引き続きウェイトの大きい卸売業・小売業がプラス寄与したほか、生活関連サービス業、娯楽業や宿泊業、飲食サービス業でも高い伸びを見せたことを背景に、家計部門が大きく改善した結果、第3次産業活動指数は2ヶ月連続で上昇した。消費が震災後の急激な落ち込みから持ち直しつつあることがうかがえよう。

## ○家計部門、企業部門ともに上昇

第3次産業活動指数のうち、それぞれ家計と企業の活動に関連が深い業種を取り出してみると、家計部門<sup>1</sup>が前月比+2.3%、企業部門<sup>2</sup>が同+0.5%とともに上昇した。家計部門では、自粛ムードの緩和から娯楽業(前

<sup>1</sup> 映像・音声・文字情報制作、旅客運送業、小売業、不動産取引業、住宅賃貸業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、学習支援業、生活関連サービス・娯楽業

月比+12.8%)や宿泊業(同+8.9%)が上昇したほか、節電商品やテレビの需要を背景に機械器具小売業(同+13.6%)、生産ラインの回復を背景に自動車小売業(同+15.5%)もプラス寄与した。

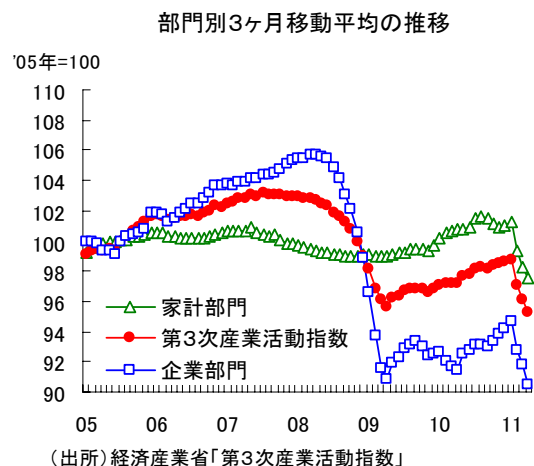
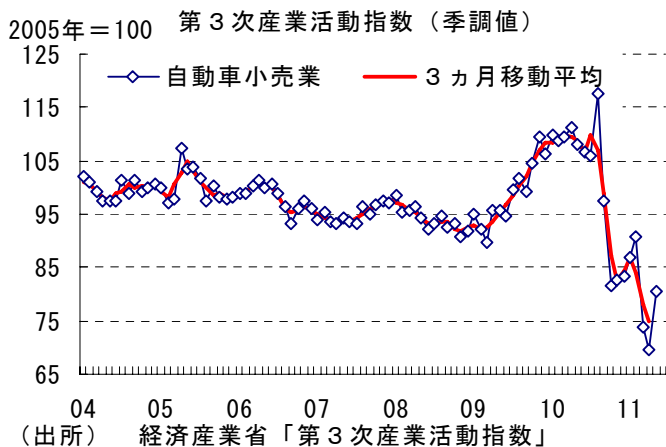
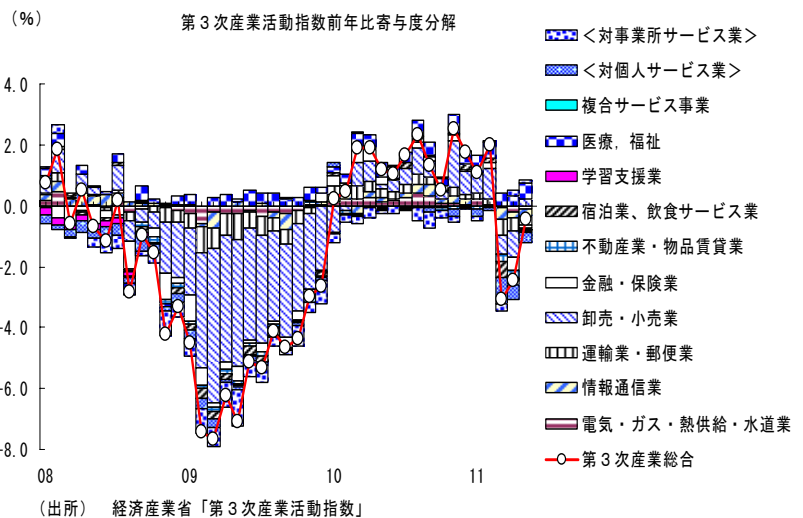
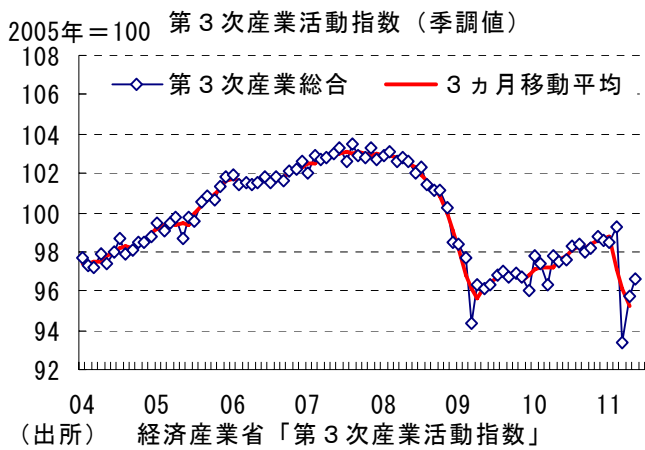
また企業部門では、情報サービス業(同▲1.6%)や学術研究、専門・技術サービス業(同▲2.5%)などが弱い数字となったが、サプライチェーンが予想以上の速度で復旧したことで工場の生産が回復したことから、卸売業(同+2.1%)が高い伸びを見せた結果、全体ではプラスとなった。

他方で、電気業(前月比+0.6%)は震災後初めてマイナスから脱却した。4月で計画停電が打ち切りになるなど、電力供給が徐々に安定したことを受けての結果といえよう。

### ○生産活動の持ち直しや節電需要を受けて、先行きは上昇の見込み

このように、自粛ムードの和らぎや工場・交通網の復旧を背景に、第3次産業活動指数は前月比プラスとなった。震災での急激な落ち込みから、徐々に経済活動が上向きつつあるといえよう。

先行き家計部門では、特に小売業での上昇が期待される。6、7月は省エネ家電への乗り換えなど節電関連需要や、地デジ移行に伴うテレビの買い替え需要が押し上げ要因となろう。企業部門では、生産活動の回復が見られることから、引き続き卸売業などでのプラス寄与が期待される。以上を踏まえ、第3次産業活動指数は今後も上昇傾向を辿るものと予測する。



<sup>2</sup> 情報サービス業、貨物運送業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、卸売業、貸事務所業、物品賃貸業、自動車賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業